

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

住みやすいですか あなたの地区は ～5年後、10年後を見据えて～



平成26年度小笠南地区懇談会グループ発表の様子

今年度もコミュニティ協議会と菊川市社会福祉協議会との共催により「みんなのしあわせ懇談会」を開催しました。今回の懇談会では、11地区住民等498名の方に御参加いただき、様々な懇談が繰り広げられました。

みんなの しあわせ懇談会を 開催しました

1 目的

- ①各地区での地域課題を探り出し、社会福祉協議会の事業に反映させること
- ②地域住民との懇談及び資料提供を通じて地域課題や小地域福祉活動の必要性の理解を図ること
- ③懇談会からの意見を平成28年度からの「地域福祉活動計画」へ反映させること

2 内容

今年度の懇談会は、菊川市地域福祉アドバイザー（菊川市社会福祉協議会委嘱）の平田厚氏がファシリテーター（進行役）となり、「住みやすいですか あなたの地区は」これからの5年後、10年後を見据えて」をテーマに懇談を進めました。

3 開催日時と参加人数

開催時間 午後7時00分～9時00分



グループ懇談の様子（加茂地区）

4 懇談会から出された意見の中間まとめ

	開催地区	月 日	参加人数
1	横地	8月20日（水）	44
2	河城	8月21日（木）	43
3	加茂	8月27日（水）	50
4	六郷	8月28日（木）	42
5	西方	8月29日（金）	56
6	小笠東	8月30日（土）	46
7	内田	9月4日（木）	42
8	小笠南	9月8日（月）	60
9	嶺田	9月22日（月）	33
10	平川	9月26日（金）	49
11	町部	9月29日（月）	33
合 計			498

○地域の中であいさつや声かけを通じて、子どもがらお年寄りまでのつながりをつくっていくことが必要ではないか

（出された意見の抜粋）

- ・子ども達から積極的にあいさつや声をかけてくれる。
- ・住民が声をかけ合える環境づくりが必要ではないか。声かけから絆を作っていく。
- ・若い人からお年寄りまで出やすい環境。いかに隣近所で声をかけ合えるか。みんなで声をかけ合おう。
- ・子どもたちが地域の大人とふれ合う機会をつくる。子どもの時から地域活動に参加していれば、大人になってからも参加する。

○地域の中で出番づくりや地域を身近に感じる仕組みをつくり、地域のみんなが参加するコミュニティづくりをしていくことが必要ではないか

（出された意見の抜粋）

- ・子どもが小さい頃より、地域との関わりが少なくなかった。
- ・行事に参加しない傾向の人もいる。参加したくてもできない人も。
- ・新興住宅となると声かけが難しい。来たら来て楽しいが、来ないことには…。
- ・高齢者が野菜づくりを指導してくれる。
- ・子どもと大人が一緒にやると刺激になる。

○地域の中の居場所づくりの充実を図っていく必要があるのではないか

（出された意見の抜粋）

- ・高齢者サロンに子どもを呼ぶ。福祉教育の一環として、高齢者サロンに子どもたちが参加する。
- ・ふれあいいきいきサロンを大きくやると大変なので、班の単位で開催し広げていったらどうか。
- ・老人クラブが無くなってサロン化している。気の合った方たちで集まる場も増えている。
- ・何もなくてもいいから話をする場があればよい。
- ・商店街の空き店舗を利用した活性化できる場づくり。

○若い人が地域に定着し、若い人が住みやすいまちづくりのために必要なことは何かを考える必要があるのではないか

（出された意見の抜粋）

- ・地域に未婚者が多い。結婚をすすめる活動を活

発にしてほしい。

- ・若い世代が地域から出て行って帰って来ない。
- ・農業の後継者問題。未婚者が多い。田畑や茶畑がどうなるのか心配。

- ・これからは、しつこいくらい関わり様々な分野へ繋げてくれる世話やきが必要ではないか。
- ・魅力あるまちづくりが必要。

○地域の中で見守りが必要としている人へどうやって関わっていくかを考える必要があるのではないか

(出された意見の抜粋)

- ・ボランティア、サロン参加者は女性が多く、男性の参加は少ない。孤立死するのは男性が多い。
- ・孤独死が起こった。色々あったがつながりができない。つながりを作ろうとしたが拒否された。家族とのつながりもない。
- ・健康寿命を延ばす予防も大事。
- ・一人暮らしが増えていくことに空き家が増えていく。災害、治安の問題もある。
- ・一人で暮らしている人もいるし、今後増えていく。地域での声かけが大事。認知症の人には声をかけにくい。

- ・民生委員として、馴染みのない家には訪問しにくい。

○普段からの隣近所との顔が見える関係づくりを災害が起こったときの助け合いにつなげていく必要があるのではないか

(出された意見の抜粋)



グループ発表の様子(内田地区)

- ・子どもが大きくなると核家族化が進み、近所づきあいが少し希薄になり、隣近所の方が助けてくれるのか不安がある。防災意識を高めることが必要ではないか。

- ・災害時、高齢者はどうするか(寝たきりの人など)。民生委員として、地域としてどうするか。

- ・隣近所の関係が変わってしまった。昔は子どもを隣の人にみてもらっていた。

- ・働いている人がほとんどで、地域の中で接点がない。

- ・若い人から負担が大きいかからと集まりをやめようという話になった。そうなると情報が入らない。近所づきあいも減った。

○高齢等さまざまな理由で生活しづらさを抱えている方の生活を支援する取り組みを検討していく必要があるのではないか

(出された意見の抜粋)

- ・近くにスーパーがない。今は自分が車に乗れるからよいが、将来的にはとても心配。コミュニティバスだと買い物も通院も一日がかり。

- ・ゴミ出しが大変な人もいる。
- ・高齢者の運転が怖い。できなくなった時どうするか。誰かに頼まなくてはいけない。

- ・サロンもたくさん出来たが、もっと高齢者の面倒をみるボランティアが必要。

- ・生活応援サービスをすすめたい(有償サービス)。



全体での懇談の様子(平川地区)

○地域の中に様々な価値観をもった人達が暮らししているなかで共通する課題は何かを検討していく必要があるのではないか

(出された意見の抜粋)

- ・若者がふれあう活動が減っている。
- ・趣味が多様化しているため、事業を企画しても参加者が少ない。みんなが興味を持てるものを見つけるのが難しい。
- ・アパートとの関わりが難しい。管理会社の管理になっていて情報が伝えられないし、情報が入らない。

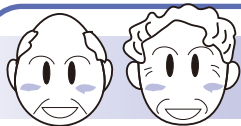
- ・プライベートの問題もあり、近隣だけでは見守りに限界がある。

- ・外国人が出たり入ったりしている。ずっといる地域の日本人でも付き合いの悪い人もいるが、外国人でも付き合いが良い人も多い。ちゃんと説明すればわかってもらえる。

このたびは、お忙しい中、多数の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今後、皆様からいただいたご意見を参考に、誰もが安心して住みやすいまちづくりを目指し、社会福祉協議会の事業、地域福祉活動計画へ反映させていきたいと思っています。

また、ご参加いただいた皆様や社協だよりをお読みいただいた皆様が、地域の課題や小地域福祉活動の必要性の理解へとつながれば幸いです。

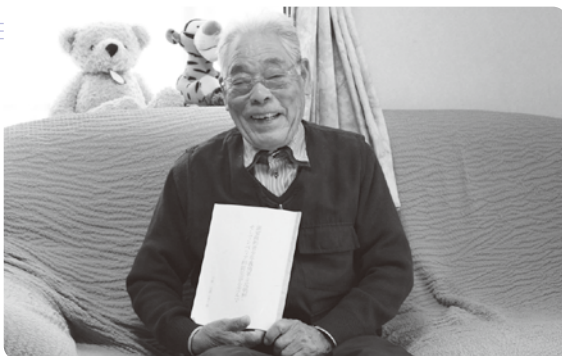


～戦友への供養として思い出話をし続けたいです～

Q 現在の活動について教えてください。

戦争で自分が体験したことについて、小学校や高齢者サロン等で話しています。

私は、昭和 15 ～ 16 年に国の方針で「満蒙開拓青少年義勇軍」に入団しました。当時、まだ 16 歳でした。次男、三男は校長先生や村長から「これからの日本は食べる物がない。満州へ行ってほしい。」「みなさんには国のために行ってもらいたい」という話を盛んにされました。また、昭和 12 年頃から満州へ行っている人から話を聞きました。最初は行くつもりはなかったのですが、周りの仲間と共に行くことになりました。小笠郡で 40 人、県内 600 人くらいいました。



赤堀 哲雄さん(奥横地)

訓練所が茨城県にあり、まず 3 ヶ月訓練行ってその後、満州へ行きました。日本海が荒れてみんなが酔っていたのを覚えています。入って 3 日目には、襲撃され、怖くてしょうがなかったです。戦争の不安ばかりがありました。

軍隊に指示され、動いていました。ソ連の領土の近くまで連れてかれたこともあります。やっと開拓をやろうと思ったら、それどころではなく、毎日軍事訓練でした。それを 3 年もやりました。もうお前らは兵隊になるしかないと言われたこともあります。

それでも 1 年間、開拓団を頑張りました。開拓をすれば 20 町歩くらいの畑をくれるという話でした。しかし、私たちが開拓しようとしていたところは、中国人がすでに開拓していたところでした。そのため、中国人を追いやって、私達が入ることになりました。出るのが嫌だとしがみつかれ、非常にショックを受けました。

その中で、農業と建築の二手に分かれ、開拓することになりました。仲間たちと 10 軒以上家を建てましたが、赤紙が貼られてしまい、99%が兵隊として連れてかれてしまいました。

その後、日本が戦争に負けたとなり、ソ連が一気に攻めてきたのです。開拓団として満州へ行ったものの、その仕事はほとんどなかったのです。

このような戦時中の話を「戦争を語り継ぐ会」に参加して話をしています。70 歳の時には「満蒙開拓青少年義勇軍と北朝鮮。そしてシベリア抑留生活を偲んで」という本も書きました。70 冊くらい作って知り合いに配りました。新聞社の方に話をしたこともあります。

毎年、5 月には護国神社で慰霊祭があるのでそれにも参加しています。だんだん行く人が少なくなってきましたが、仲間を誘い、一緒に行っています。食事をしながら思い出話もします。

Q 趣味や楽しみなことは何ですか。

グラウンドゴルフが好きです。グラウンドゴルフをやって、話せる友だちを作って、話をすることで頭が活性化するのはないかと思います。

Q これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

こういった昔の話をすることが亡くなった方の供養だと思っています。思い出話は生きていればできることなので、健康である限り死ぬまで続けていきたいです。100 歳まで生きたいですね。



横地いきいきサロンで満蒙開拓団について話してくれました



西風の会

西風の会は、「菊川市西地区民生委員児童委員退任者の会」の略称で、民生委員児童委員活動の趣旨に賛同し、福祉事業の活動と、会員相互の親睦を図ることを目的として、平成19年12月より活動しています。

発足のきっかけは、3年間の民生委員児童委員の任期を終える時に、「せっかく一緒に頑張ってきた仲間なのだから親睦会をつくろう」、という話し合いがなされたことからでした。

また、発足前には菊川市民生委員児童委員の退任者が活動をしていた雅会がありましたが、それは年1回の旅行が主でした。そのため、より会員相互の親睦を深め、現役の民生委員児童委員活動を補助していこう、と発足しました。

活動内容は、会員で相談して決めています。1年の活動が12月から始まり、11月までとなっています。民生委員児童委員が12月からの任期ですので、それに合わせてあります。25年度の活動は、下記のとおりです。その他、役員会等も行っています。11月からは、また新たに計画を立てて活動をしていきます。年間に様々な行事がありますが、気軽に参加してもらえよう心掛けてまいります。会員は常に募集しています。

今の願いは、菊川東地区、小笠地区でも同じように会を立ち上げて頂き、相互に協力して活動していけたら、大きな力と成る事です。

年間行事

月	内 容
12月	定期総会 親睦会
2月	菊川市社会福祉大会への協力 現役の民生委員児童委員とのウォーキング
3月	現役の民生委員児童委員とのお花見交流会
5月	現役の民生委員児童委員とのグラウンドゴルフ交流会
7月	プラザけやき奉仕作業
8月	プラザけやき奉仕作業
10月	ふれあい広場への協力

問合せ先 西風の会 代表 鈴木 徳千代 ☎36-0008



お花見交流会



グラウンドゴルフ交流会



奉仕作業



ご寄付ありがとうございました(8月~11月)

心温まる浄財および物品は、社会福祉事業に有効活用させていただきます。

物品寄付

山本 征司 様

浄財寄付

菊川市仏教会 様

宮城 宮子 様

受賞おめでとうございます



柴田晴雄様(白岩東)が、永年にわたり遺族会の運営に多大の貢献をされましたことに対し、静岡県遺族会会長より感謝状が授与されました。

内田昌義菊川市遺族会会長と村松昇菊川地区遺族会副会長が代表して直接感謝状を手渡しました。

平成26年度静岡県健康福祉大会において、以下の方々が受賞されました。

静岡県知事表彰(社会福祉功労表彰 社会福祉施設従事者)

牧野和彦様、松永武彦様(社会福祉法人草笛の会)

酒井みつ江様、田口京子様(社会福祉法人和松会)

静岡県社会福祉協議会会長表彰

(社会福祉功労表彰 法人・事業所の役員及び従事者)

平野恵子様、太田洋子様(社会福祉法人愛育会)

山崎巳代子様、伊東眞由美様(社会福祉法人白翁会)

瀧谷 真様、大場志保様(東遠学園組合)



受賞おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待いたします。



地域ふれあい奉仕活動を行いました

11月7日(金)に菊川市身体障害者福祉会が、地域ふれあい奉仕活動としてプラザけやきの奉仕活動を行いました。

会員約30名が集まり、草取りや落ち葉拾い等をしていただきました。ありがとうございました。

菊川市老人クラブ連合会芸能祭が開催されました

11月18日(火)に中央公民館多目的ホールにおいて、カラオケ、舞踊、寸劇、演奏等、内容盛りだくさんで、華やかに開催されました。

会場には、出演者、観客を含め、266名の方々が集まり、日頃の成果を披露したり、声援を送るなど、楽しい1日を過ごしました。



写真撮影：デジカメボランティア「おっ撮りカメラ隊」



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)



「声のサークルやまびこ」

身近な情報を知りたいという視力に障がいのある人達の声に応えて、昭和55年に1粒の種がまかれ、翌年芽出、聞いてくださる方と一緒に育て33年になります。

広報きくがわ、社協だよりなどテープに録音し、郵送しています。

会のモットーは、無理をしないで助け合いながら、聞いている方々の声を大切にして、聞きよいテープ作りを心掛けています。録音だけでなく、テープのダビング・発送・返却・整理などの仕事がたくさんあります。

和気藹々作業終りのよもやま話もたのしみの一時です。

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

ボランティアグループからのお知らせ

『こんにちは 子育てサポートりぼんです』

連絡先が変更になりました。

【以前にも連絡をいただいたことがある方】

supportRBN-2000@softbank.ne.jp 080-3650-8844

【初めての方、問い合わせ、講座等申し込み】

supportRBN-2014@softbank.ne.jp 090-9942-8844

◇どちらの番号でも対応できます。パソコンからのメールは受信できませんので、ご注意ください。

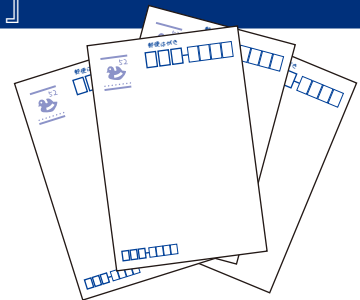
託児、読み聞かせに加え、すまいるサロンも行っています。

お気軽にお問い合わせしてくださいね!!

『書き損じハガキを集めています』

障がい者の地域での生活支援、相談活動などを行っている「自立生活センターきくがわ」は、一年をとおして書き損じハガキを集めています。

市内の各地区センター、プラザけやき（社会福祉協議会窓口）に収集箱を設置しています。年賀状等の書き損じハガキがありましたら、ぜひご協力ください。



『おもちゃの修理をします』



おもちゃの修理をしてくれる個人ボランティアさんがいます。修理を希望される方はご連絡ください。

修理のために備品などの購入が必要な場合は、実費負担をお願いします。また、直せない物もありますのでご了承ください。

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

第37回静岡県ボランティア研究集会 ご案内

- 日時 平成27年2月8日(日) 9:45~16:45
 会場 静岡文化芸術大学講堂(浜松市) 他
 内容 ①基調講演「ボランティアの過去・現在・未来を考える-私にとってのボランティア」
 講師 池田幸也氏(常磐大学コミュニティ振興学部教授)
 佐藤浩希氏(フラメンコ舞踊家・振付家・演出家)
 ②分科会(9分科会)
 第1分科会:考えよう、何があなたに合っている?
 ~ボランティアを「はじめる」「つづける」ために~
 第2分科会:もしもの時、あなたにもできる!~災害ボランティア最前線~
 第3分科会:当事者の目線から~「障がい者が地域で暮らす」とは...~
 第4分科会:ボランティアでつながろう~地域が家族になるとき~
 第5分科会:もっとボランティア~僕らにしかできないこと~
 第6分科会:ボランティア学習の現状とこれから
 第7分科会:子育てのチカラ
 ~もっともっと楽しく子育てサポートするために考えよう~
 第8分科会:より魅力ある活動を創るための仲間(組織)づくりとネットワーク
 第9分科会:「人権カフェ」~知ろう、考えよう、そしてつながる~
 ③全体会 積志ウィンドアンサンブルによる演奏
 分科会のふりかえり

参加費 一般1,000円・高校生以下500円
 締切り 平成27年1月20日(火) ※定員400名になり次第締め切り
 問合せ先 募集要項・申込書は、社会福祉協議会窓口とボランティアセンターにあります。 ☎35-6385

平成27年度 地域福祉活動支援助成 ご案内

地域における福祉活動の支援を目的とし、市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、ボランティア団体、市民活動団体などに、共同募金の配分金を財源に助成金を交付します。

〔実施のながれ〕

- 交付申請協議書の提出(1月)
 助成を希望する団体は、平成27年1月15日(木)までに「交付申請協議書」をご提出ください。
- 助成金の内示(2月)
 交付申請協議書の内容に基づいて、審査会において協議し、助成金額を内示します。
- 交付申請書の提出・交付決定(3月)
- 助成金の支払い(4月)

問合せ・申込先 社会福祉協議会 ☎35-3724

相談窓口

福祉総合相談

日時 月~金曜日 8:15~17:00

心配ごと相談

日時 1月 5日(月) 9:00~12:00

1月15日(木) 13:00~16:00

会場 プラザけやき

日時 1月 5日(月) 13:00~16:00

1月20日(火) 9:00~12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 1月 9日(金) 18:00~21:00 (受付20:00まで)
 女性のための相談日

1月18日(日) 9:00~12:00 (受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※奇数月の第1金曜日は女性専用の相談日となります。

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談

日時 1月 5日(月)・19日(月) 13:00~16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233